

2026年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2026年8月7日

株式会社ナカニシ

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用電気モーター

DCI事業

DCI Business

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア



デンタルキャビネット



デンタルチェア用パーツ

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。

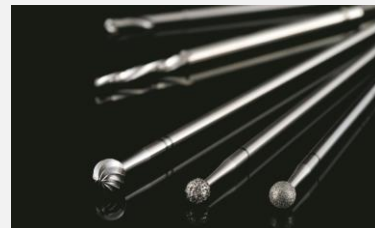
2026年に買収した Acra Cut・Intech の業績は外科事業に含まれます



コンソール



モーター&アタッチメント



ディスポーザブル(バー)



ディスポーザブル(パーフォレーター)

機工事業

Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用するモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。



コントローラー&スピンドル



増速スピンドル



超音波カッター



先端工具

2026年12月期 第2四半期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

歯科・DCI・外科・機工のすべての事業で二桁増収を達成。特に、歯科一国内と外科事業が大幅伸長*。円安も追い風となり連結売上高は前年比+20.5%増収。

* Q2からAcraCut / Intechの連結開始。当期は4~12月(9カ月分)業績を期ずれなく取り込む予定

全事業増収に伴う利益増加に加えてAcra Cut/Intechの新規連結が寄与し、連結EBITDAは前年比+22.9%増益。

上半期業績の仕上がりで足元の事業動向をふまえ通期業績予想を上方修正。営業利益・経常利益・当期純利益* のいずれも過去最高益を更新する見込み。

* DCI段階取得に係る差益(一過性の特別利益)を計上した2023年12月期を除く

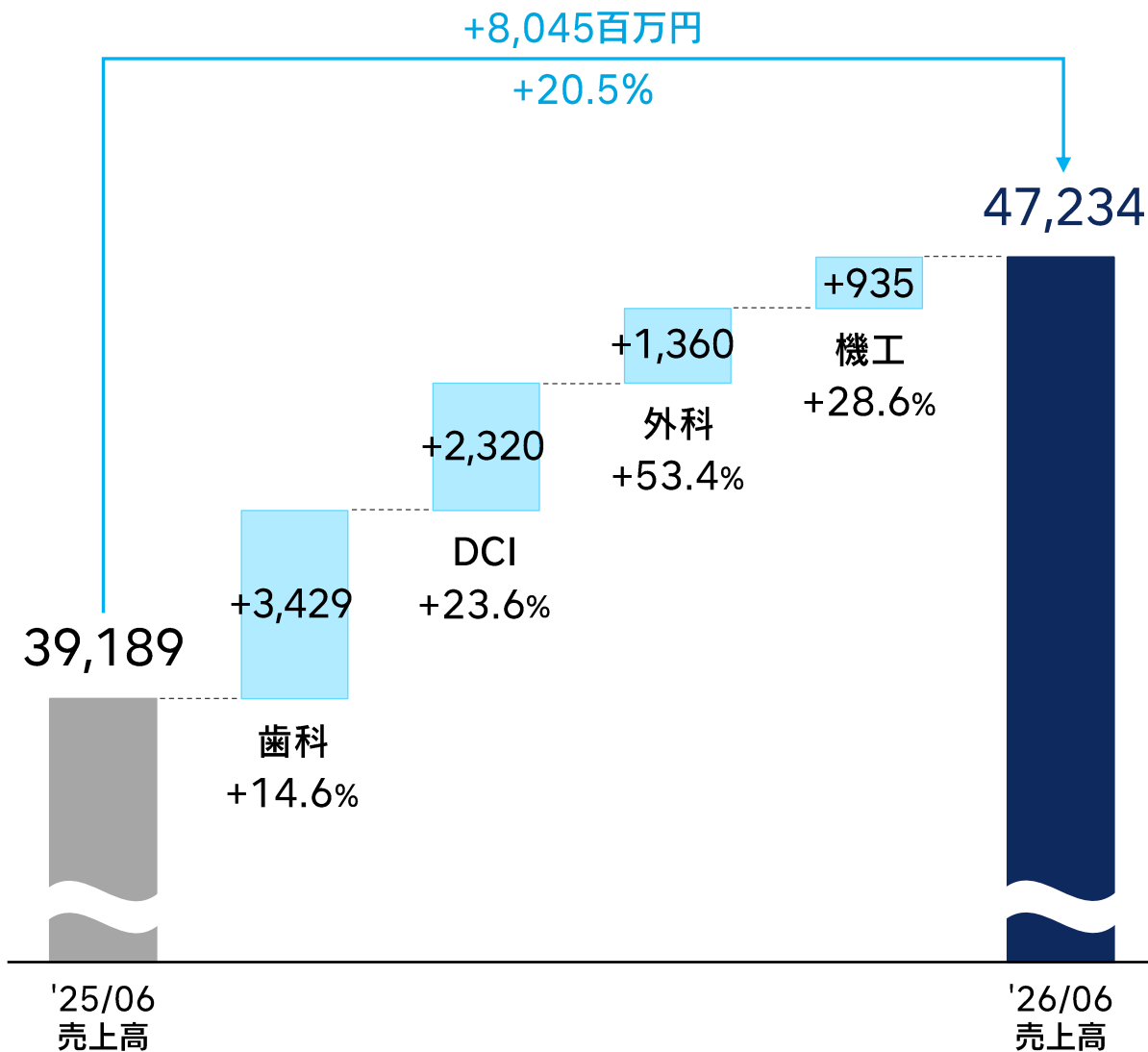
通期予想の修正に伴い株主還元を拡大。自己株式の取得枠拡大(25→40億円)で総還元性向70%を志向するとともに、株式分割(1→2株)を併せて実施。

百万円

			当期実績	前年同期	前年同期比	
			2026/06	2025/06	増減額	増減率
売 上 高			47,234	39,189	+8,045	+20.5%
売上総利益			27,424	23,104	+4,320	+18.7%
利益率			58.1%	59.0%	-0.9pt	—
E B I T D A*			12,769	10,390	+2,379	+22.9%
マージン			27.0%	26.5%	+0.5pt	—
営 業 利 益			10,012	7,587	+2,425	+32.0%
利益率			21.2%	19.4%	+1.8pt	—
経 常 利 益			11,577	6,930	+4,646	+67.1%
利益率			24.5%	17.7%	+6.8pt	—
親会社株主に帰属する 中間純利益			8,144	3,510	+4,634	+132.0%
利益率			17.2%	9.0%	+8.3pt	—
E P S	(円)		98.07	41.84	—	—
* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額						
為替レート	- 米ドル	(円)	158.30	149.01	+9.29	-
	- ユーロ	(円)	184.76	162.62	+22.14	-

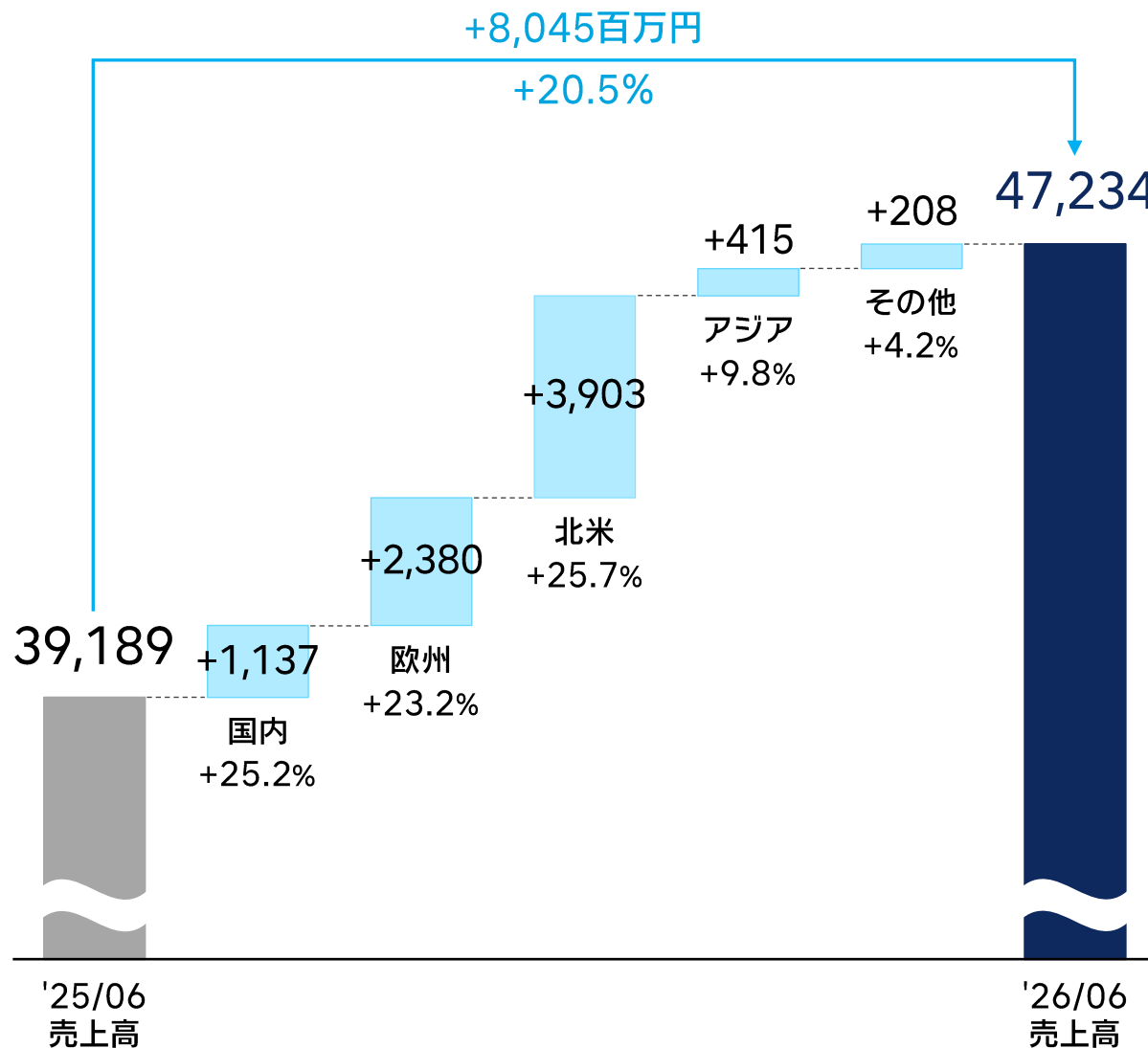
* 為替影響額：売上高 +2,884百万円（前年同期比） +2,448百万円（予想レート比）

百万円



	前年同期 2025/06 A	当期実績 2026/06 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
歯科事業	23,533	26,962	+1,976	+14.6%
DCI事業	9,834	12,155	+613	+23.6%
外科事業	2,548	3,909	+117	+53.4%
機工事業	3,272	4,207	+177	+28.6%
合 計	39,189	47,234	+2,884	+20.5%
M&A効果(外科事業)			+642百万円	(+1.6%)

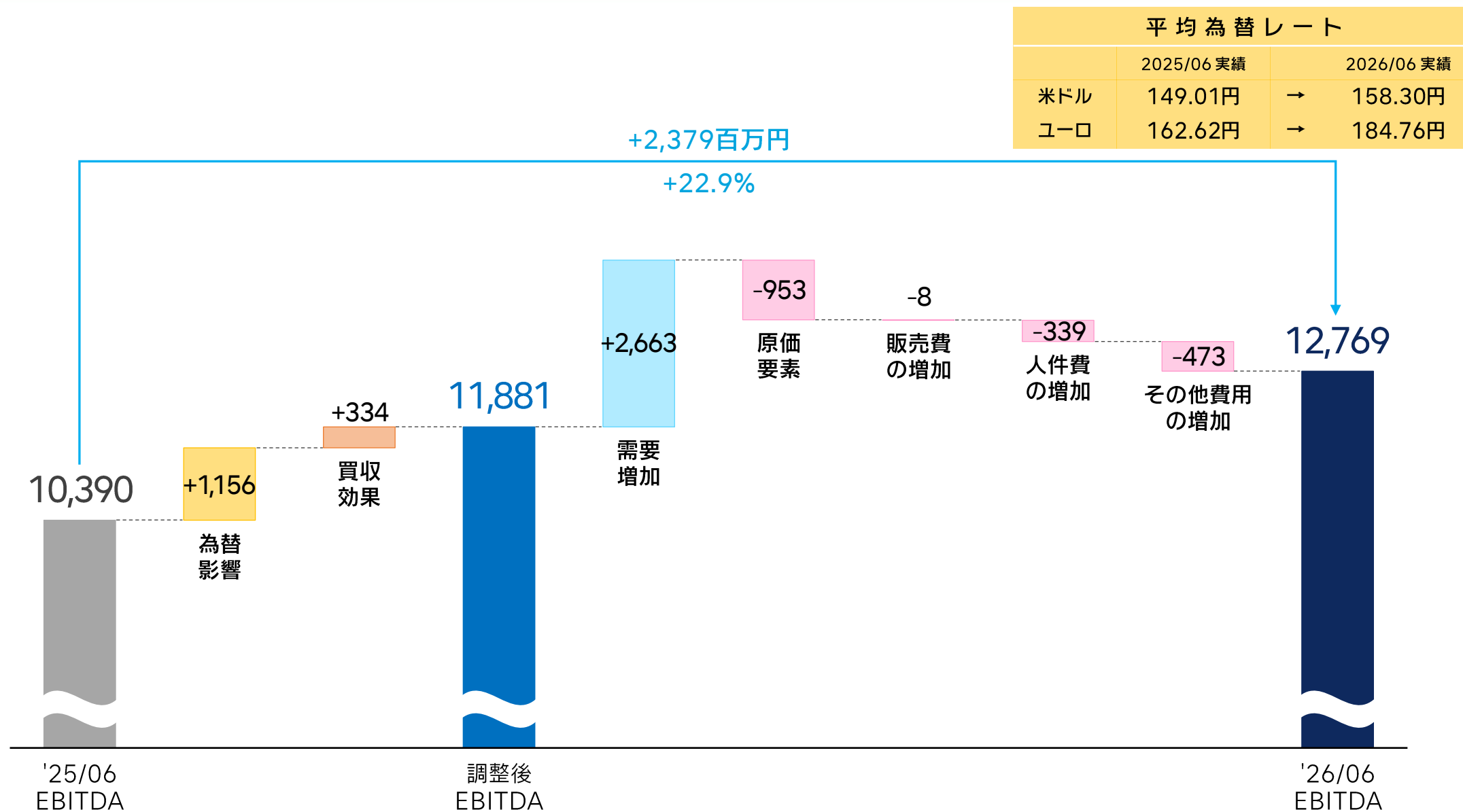
百万円



	前年同期 2025/06 A	当期実績 2026/06 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
国 内	4,511	5,648	-	+25.2%
欧 州	10,276	12,657	+1,307	+23.2%
北 米	15,195	19,098	+924	+25.7%
ア ジ ア	4,224	4,640	+208	+9.8%
そ の 他	4,981	5,190	+444	+4.2%
合 計	39,189	47,234	+2,884	+20.5%

M&A効果(北米) +642百万円 (+1.6%)

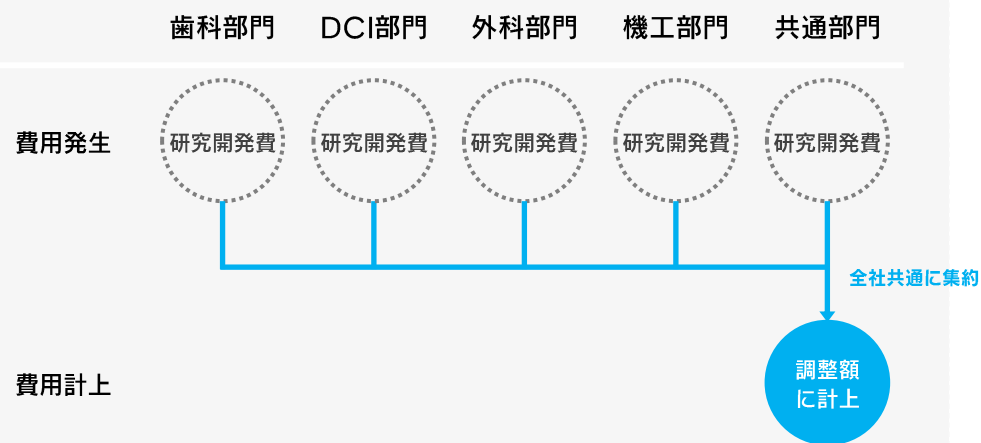
百万円



NV2030目標達成に向けて各事業で成長投資に着手 研究開発費を事業毎に明確化して収益管理を精緻化

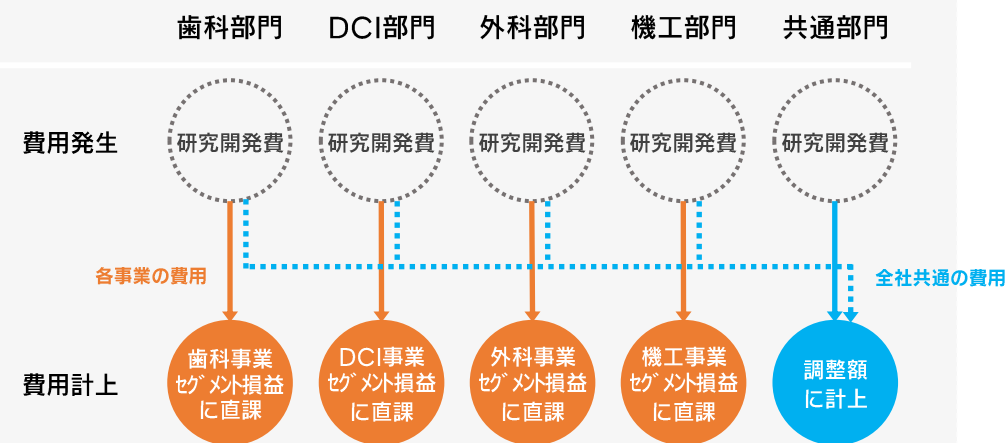
従来 全社共通(調整額)に集約

(~FY2025Q4)

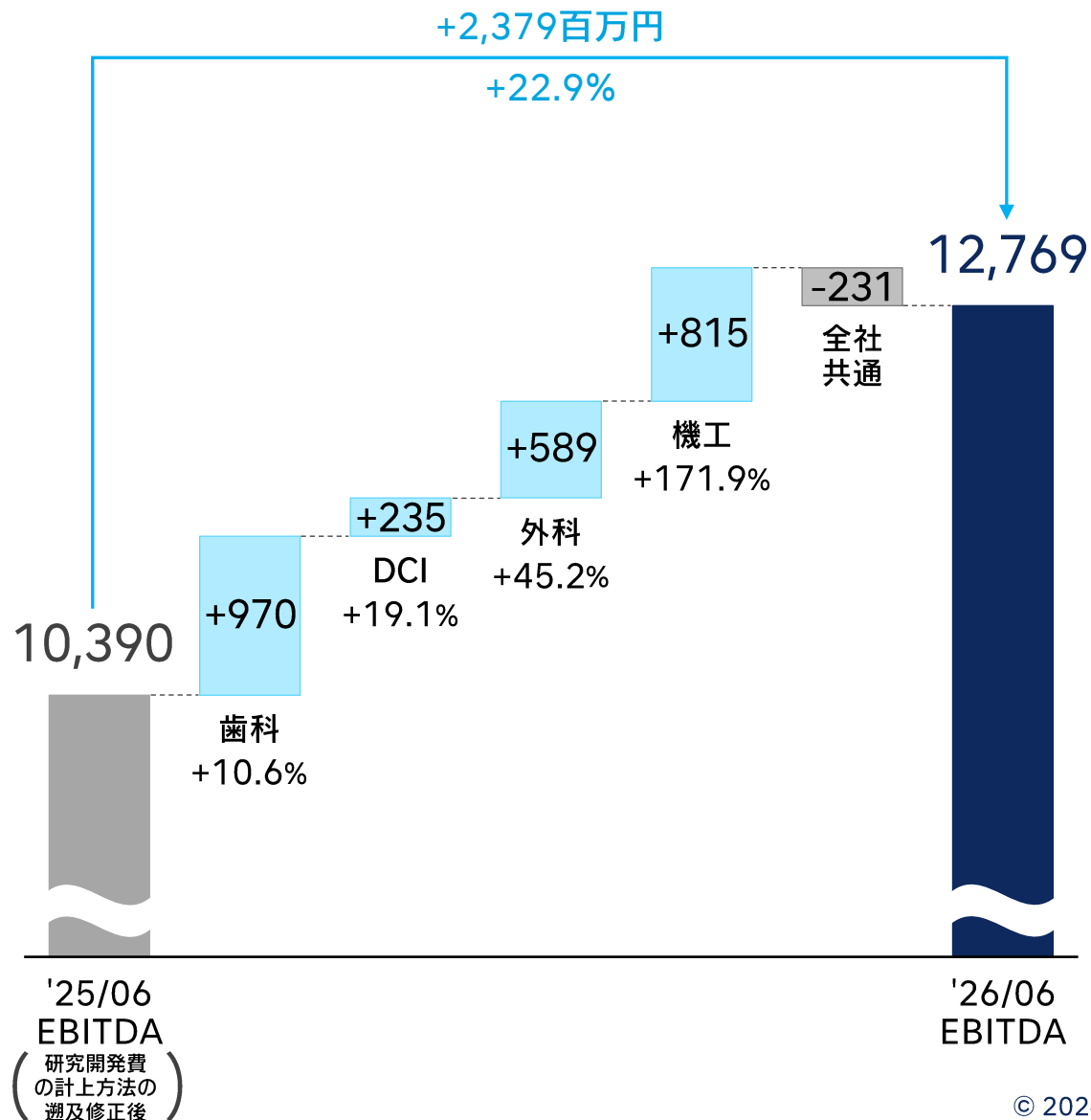


今後 判別できるものは直課

(FY2026Q1~)



百万円

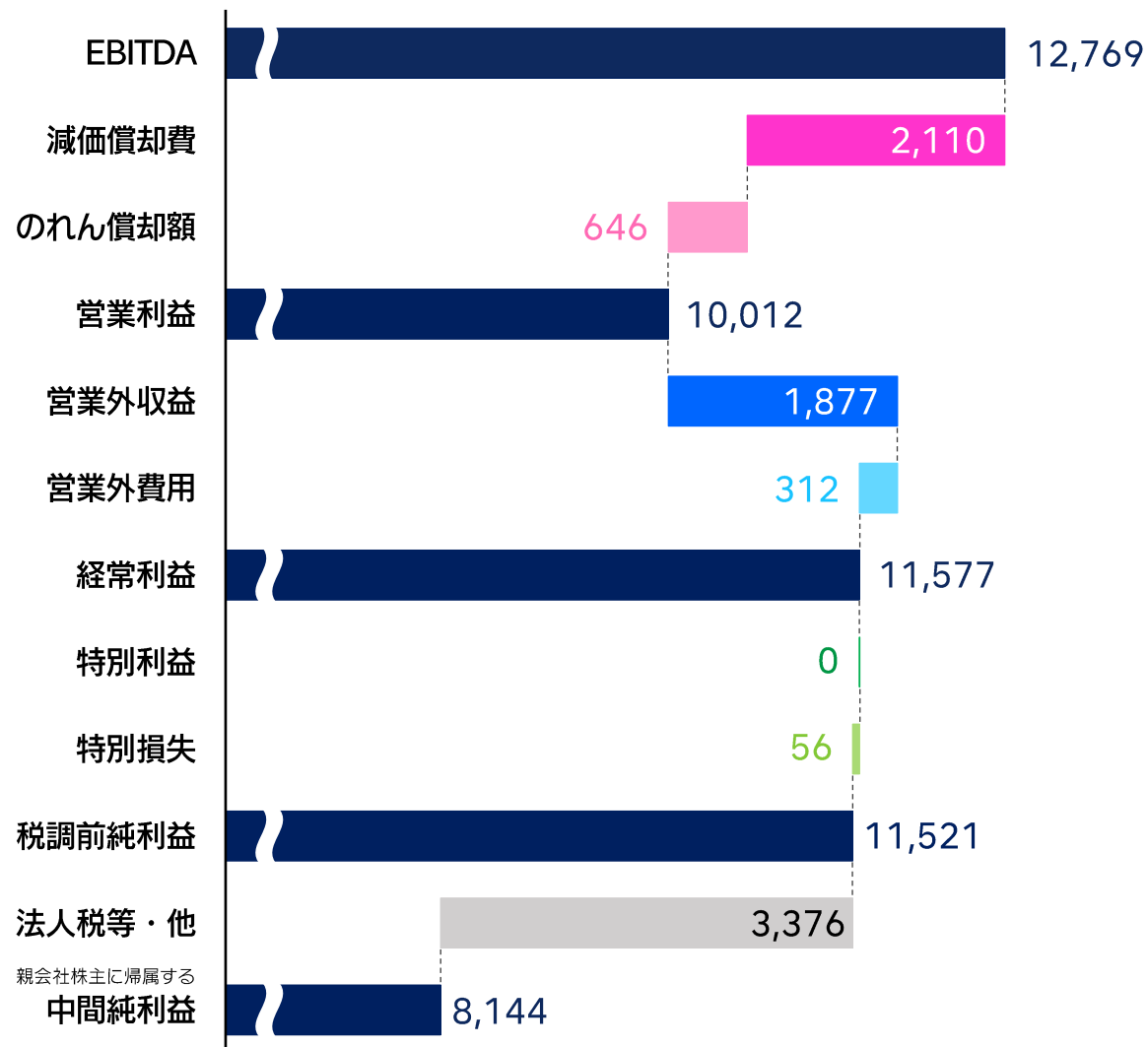


	前年同期 2025/06 A	遡及修正後 前年同期 2025/06 A'	当期実績 2026/06 B	増減率 B/A'-1
歯科事業	9,782	9,136	10,107	+10.6%
DCI事業	1,233	1,233	1,469	+19.1%
外科事業	1,408	1,304	1,894	+45.2%
機工事業	531	474	1,290	+171.9%
全社共通	-2,565	-1,759	-1,990	-
合 計	10,390	10,390	12,769	+22.9%

為替影響額 (前年同期比) +1,156百万円 (+11.1%)

M&A効果 (外科事業 (前年同期比) +334百万円 (+3.2%)

百万円



営業外収益

・受取利息/有価証券利息	484
・為替差益	1,130
・雑収入	190

営業外費用

・支払利息	189
・雑損失	122

特別利益

・固定資産売却益	0
----------	---

特別損失

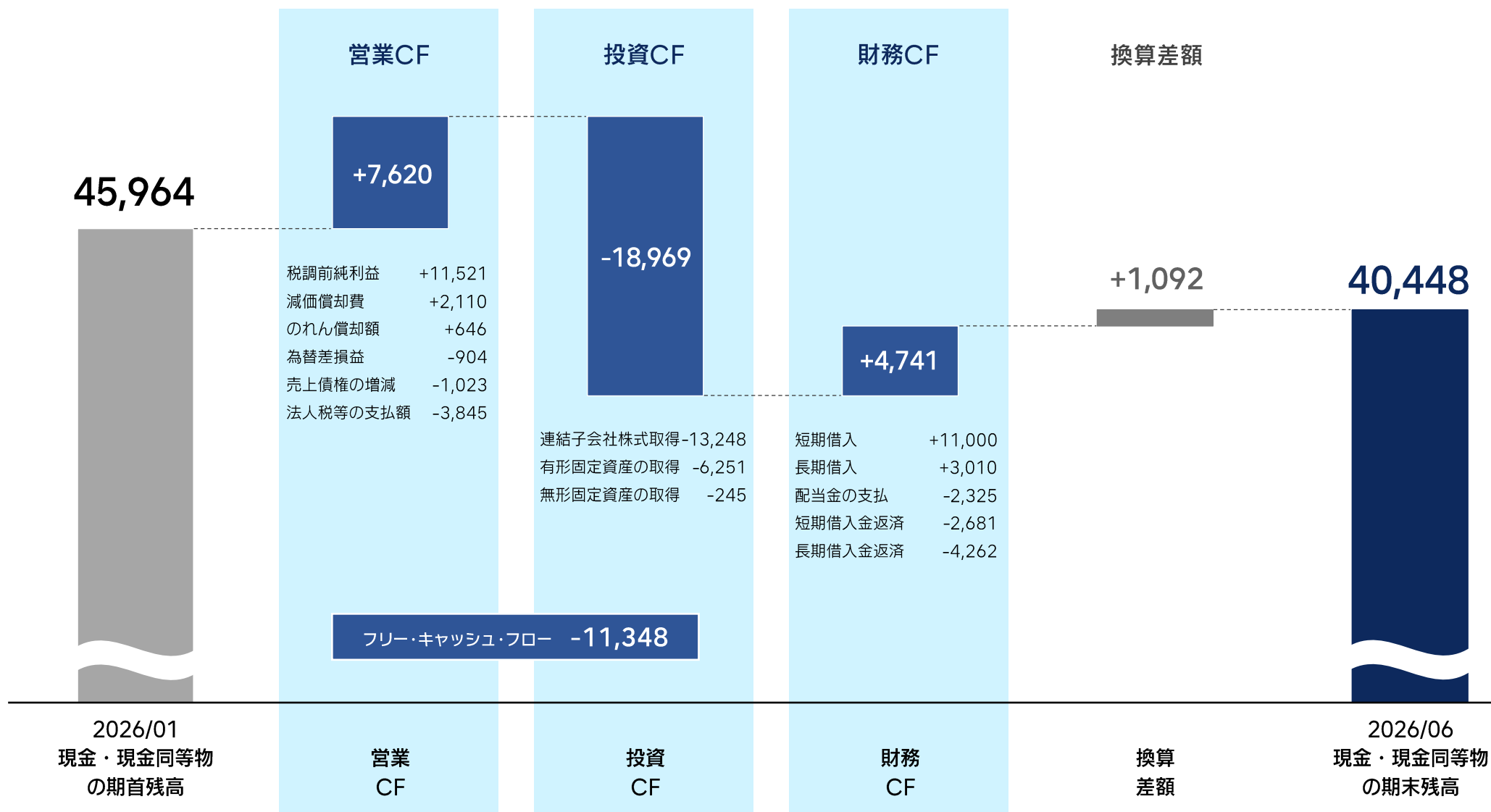
・固定資産除却損	56
----------	----

百万円

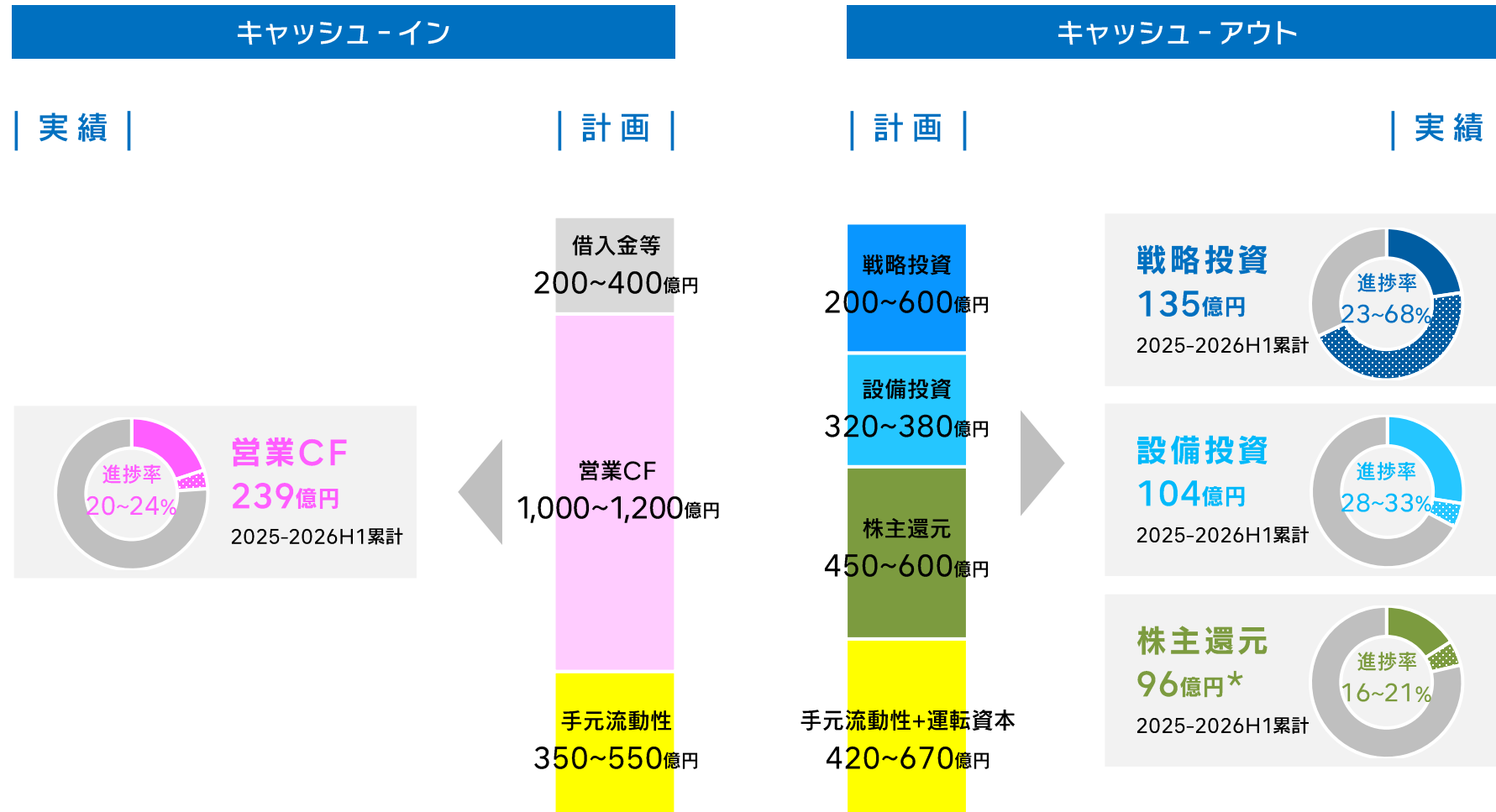
	当 期 末 2026/06	前 期 末 2025/12	増減額	主な増減内容	
総資産	174,551	160,155	+14,395		
- 現金及び預金	56,375	61,317	-4,941		
- 棚卸資産	27,189	25,565	+1,623	・ 商品及び製品	+608
				・ 仕掛品	+396
- のれん	17,881	5,391	+12,490	・ 原材料及び貯蔵品	+618
負債	52,541	46,081	+6,460		
- 有利子負債	33,880	26,772	+7,107	・ 短期借入金	+8,345
				・ 1年内返済長期借入金	+757
				・ 長期借入金	-1,994
純資産	122,009	114,074	+7,935	・ 為替換算調整勘定	+1,657
- 利益剰余金	115,865	110,046	+5,819		

	当期実績 2026/06	前期実績 2025/06	増減額	当期実績の主な内容	
設備投資額	6,245	3,101	+3,144	・ 機械装置	439
				・ 子会社新社屋	5,163
減価償却費	2,110	2,078	+32		

百万円



NV2030目標値に対する進捗状況



2026年12月期 連結業績予想

(2026/8/7 修正)

2026/2/12 期初に策定した通期業績予想

- すべての事業で増収、売上高は881億円（前期比+9%）と予想。6期連続で過去最高売上高を更新する見込み。
- 成長投資として販売費・人件費・研究開発費等の費用増加を見込むも、増収に伴う利益増加でこれを打ち返し EBITDAは206億円（前期比+4%）、のれん償却減により営業利益は156億円（前期比+11%）を見込む。
- 為替レートは1米ドル=150円 / 1ユーロ=170円と想定。前期に計上した為替差益の剥落で経常利益は154億円（前期比-9%）、前期に計上した一過性の費用や税金等の解消により当期純利益は109億円（黒字化）を見込む。

2026/3/5 通期業績予想の上方修正#1

- 買収したAcra Cut・Intechの2026年4～12月（9カ月）業績の取り込みにより、業績予想を上方修正

2026/8/7 通期業績予想の上方修正#2

- 歯科・DCI・外科・機工の各事業の上半期業績の仕上がりや足元の事業動向をふまえて、業績予想を上方修正

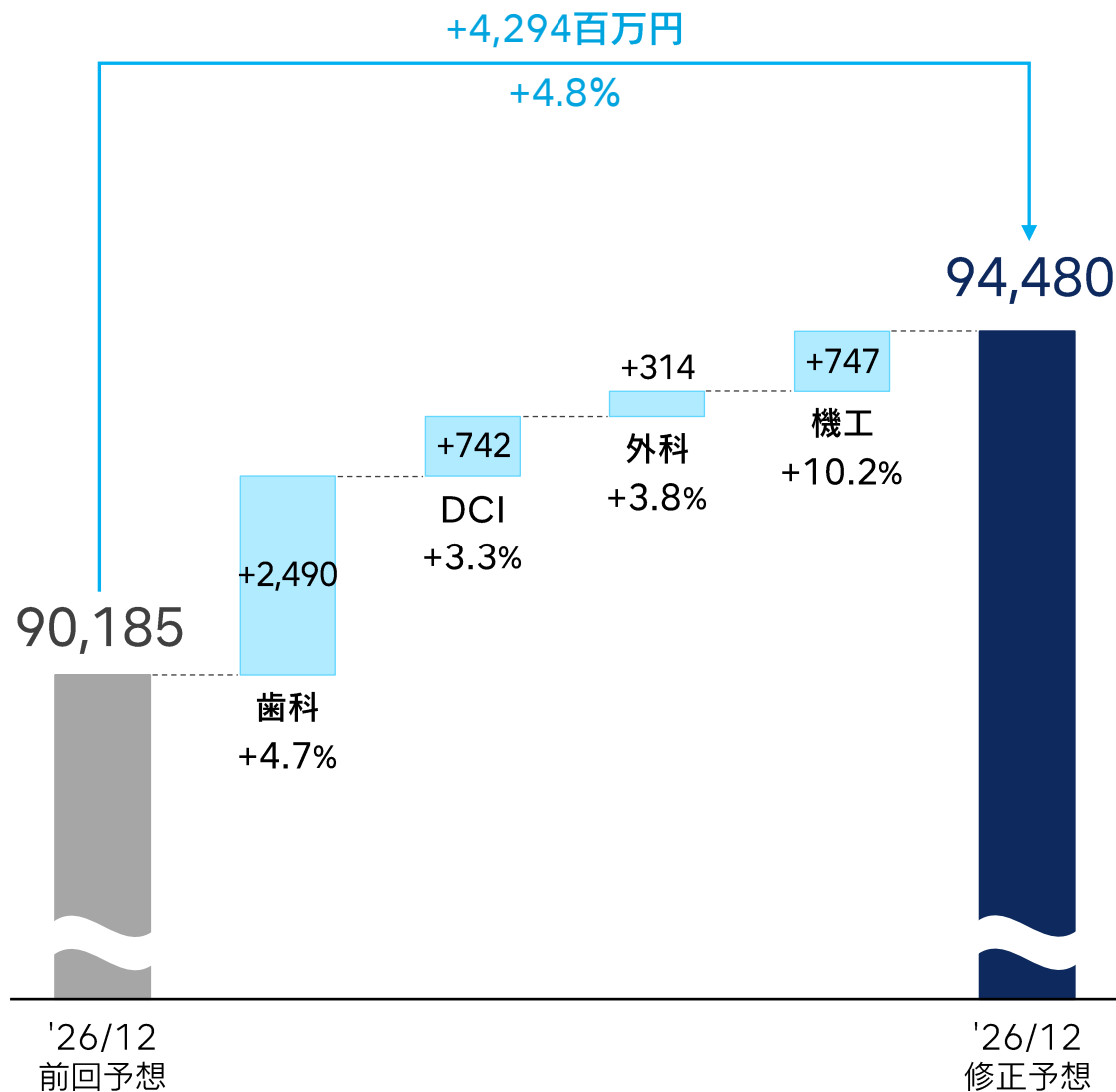
百万円		修正予想 8/7 公表	前回予想 3/5 公表	前回予想比 増減額 増減率		前期実績 2025/12	前期比 増減額 増減率	
売 上 高		94,480	90,185	+4,294	+4.8%	81,179	+13,301	+16.4%
売 上 総 利 益		54,486	50,176	+4,309	+8.6%	46,060	+8,425	+18.3%
	利 益 率	57.7%	55.6%	+2.0pt	—	56.7%	+0.9pt	—
E B I T D A *1		24,340	21,854	+2,486	+11.4%	19,899	+4,441	+22.3%
	マージン	25.8%	24.2%	+1.5pt	—	24.5%	+1.2pt	—
営 業 利 益		18,649	16,215	+2,433	+15.0%	14,089	+4,559	+32.4%
	利 益 率	19.7%	18.0%	+1.8pt	—	17.4%	+2.4pt	—
経 常 利 益		19,062	16,091	+2,971	+18.5%	16,933	+2,128	+12.6%
	利 益 率	20.2%	17.8%	+2.3pt	—	20.9%	-0.7pt	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		13,544	11,193	+2,351	+21.0%	-2,398	+15,943	—
	利 益 率	14.3%	12.4%	+1.9pt	—	-3.0%	+17.3pt	—
E P S (円)		163.10 *2	133.96	—	—	-28.70	—	—

*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
*2 8/7発表の株式分割を考慮しないEPSを記載。株式分割実施後のEPSは81.55円となる見込み。

想定為替レート		修正予想 下半期(7~12月) 想定レート	前回予想 下半期(7~12月) 想定レート	
- 米ドル	(円)	155.00	150.00	+5.00
- ユーロ	(円)	180.00	170.00	+10.00

参考 為替感応度 米ドル：1円変動で年間売上高284百万円の増減
ユーロ：1円変動で年間売上高103百万円の増減

百万円



	前期実績 2025/12 A	(3/5公表) 前回予想 2026/12 B	(8/7公表) 今回予想 2026/12 C	増減率 C/B-1
歯科事業	48,197	52,441	54,932	+4.7%
DCI事業	20,538	22,270	23,012	+3.3%
外科事業	5,537	8,173	8,487	+3.8%
機工事業	6,906	7,301	8,048	+10.2%
合 計	81,179	90,185	94,480	+4.8%

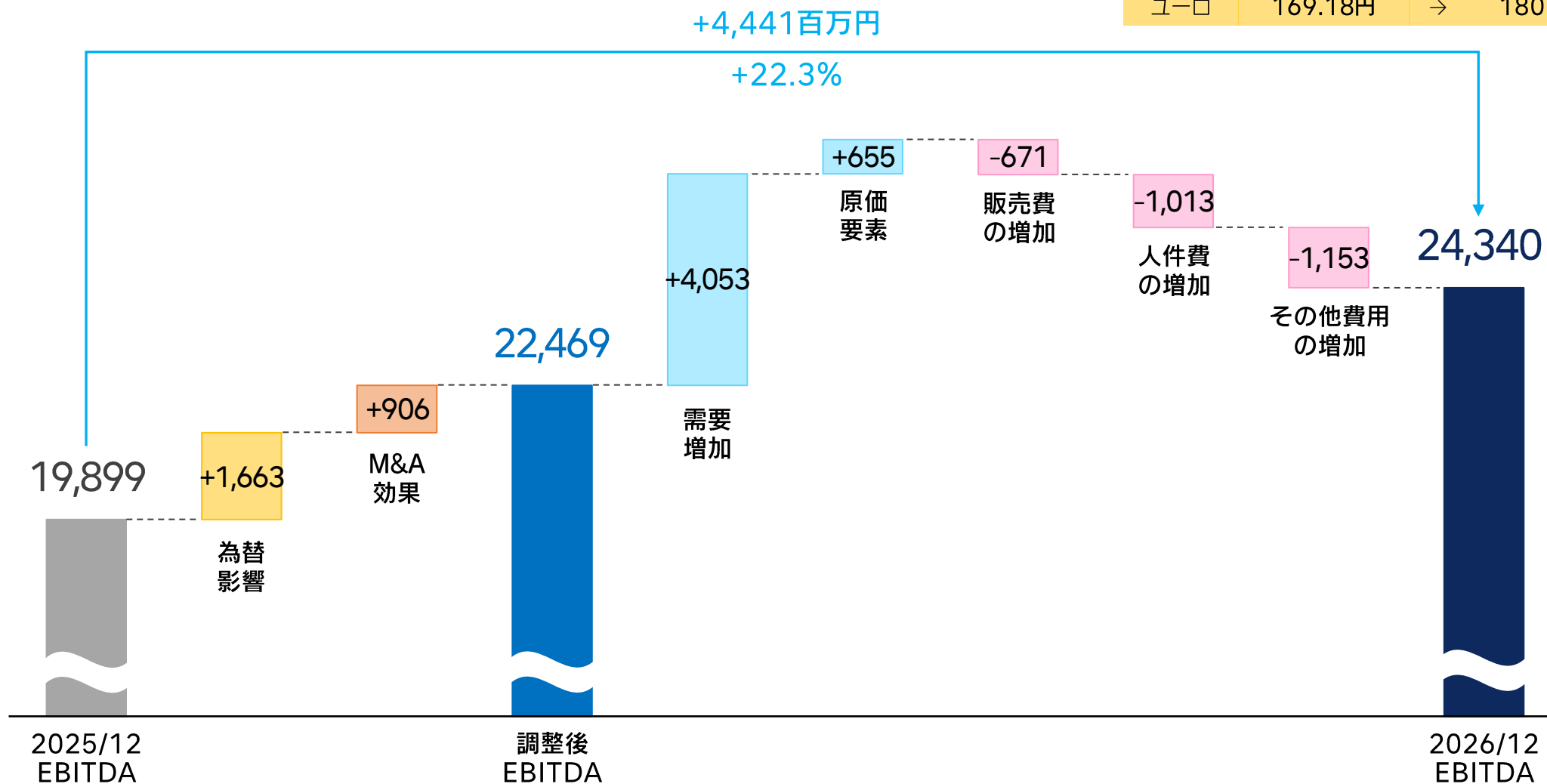
為替影響額 (前年同期比) +4,260百万円 (+5.2%)

M&A効果 (外科事業に包含) (前年同期比) +1,895百万円 (+2.3%)

百万円

平均為替レート

	2025/12実績		2026/7~12予想
米ドル	150.43円	→	155.00円
ユーロ	169.18円	→	180.00円



株主還元

株式分割 および 自己株式の取得枠拡大

株式分割によって投資単位当たりの金額を引き下げ
当社株式の流動性の向上・投資家層の拡大を図る

基準日： 2026年9月30日(水)

分割方法： 普通株式 1株 ▶ 2株

発行済株式総数： 92,218,200株 ▶ 184,436,400株

発効可能株式総数： 375,000,000株 ▶ 737,000,000株

効力発生日： 2026年10月1日(木)

2026年12月期業績予想の上方修正(8/7)をふまえて 自己株式の取得枠を拡大して総還元性向70%を目指す

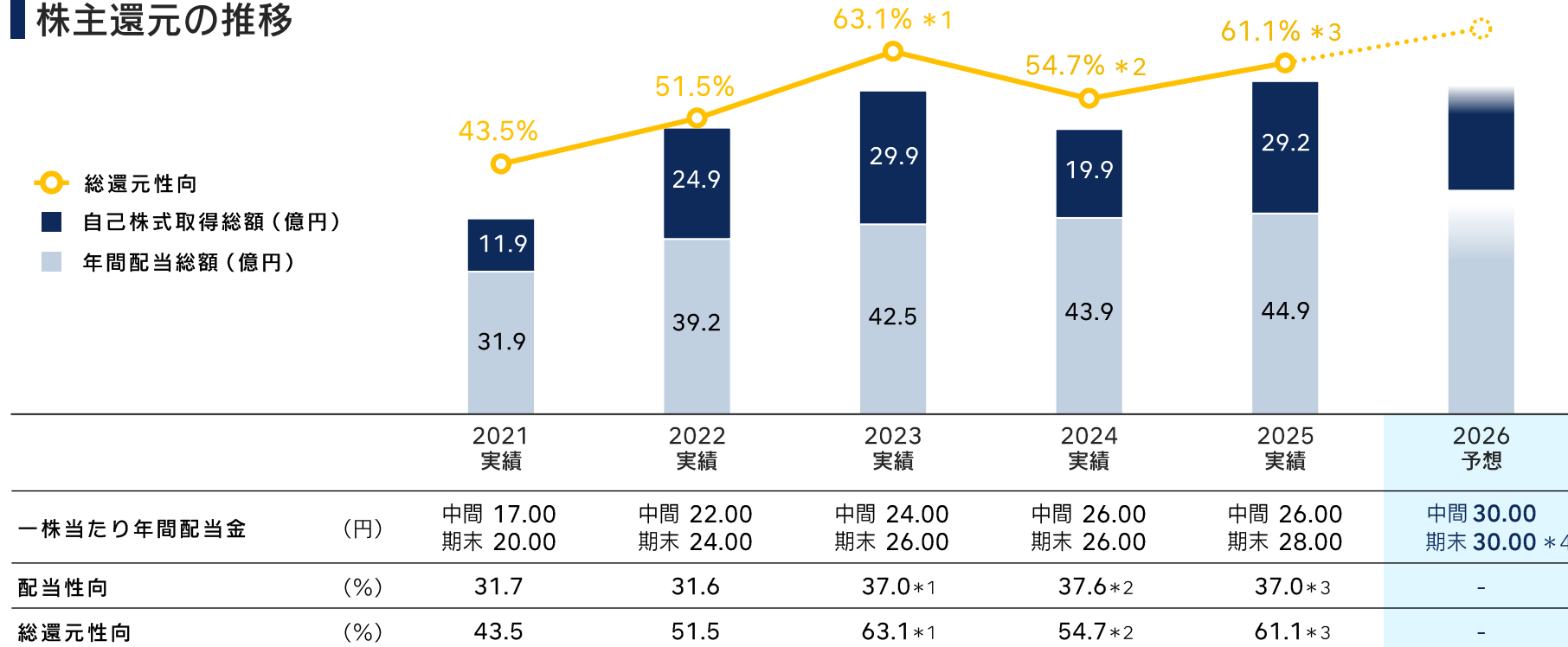
	変更前 2026/2/12 取締役会の決議内容		変更後 2026/8/7 取締役会の決議内容
取得する株式の種類	当社普通株式		当社普通株式
取得する株式の総数	上限 1,500千株 発行済株式総数(自己株式を除く) に対する割合 1.81%	+500千株 →	上限 2,000千株 発行済株式総数(自己株式を除く) に対する割合 2.41%
取得価額の総額	上限 2,500百万円	+1,500百万円 →	上限 4,000百万円
取得期間	2026年2月13日 ～ 2026年12月30日		2026年2月13日 ～ 2026年12月30日

株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主還元をバランスよく実施

中期経営計画「NV2030」では株主還元の指標として総還元性向（自己株式取得+配当）を引き続き採用。「累進配当制度」を適用し「総還元性向70%」に引き上げ

株主還元の推移



*1 DCL買収に係る特別利益等を除外した調整後純利益を基準に算出

*2 IGA減損に伴う特別損失等を控除した調整後純利益を基準に算出

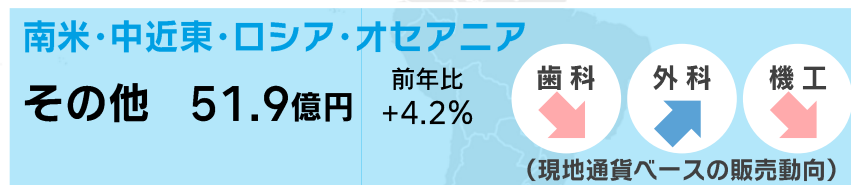
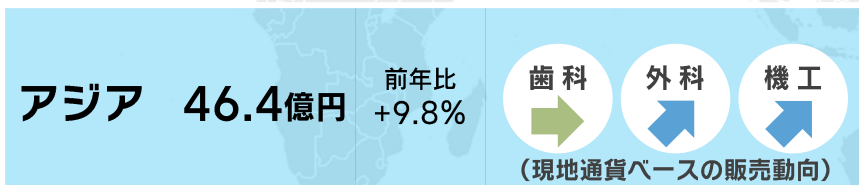
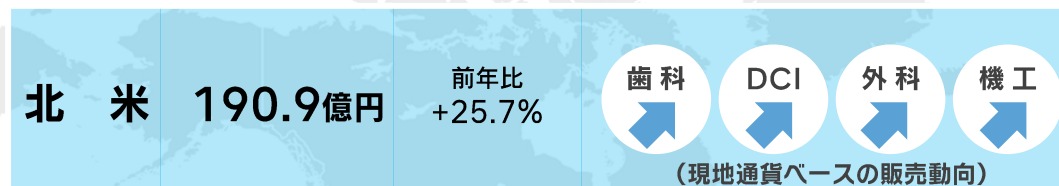
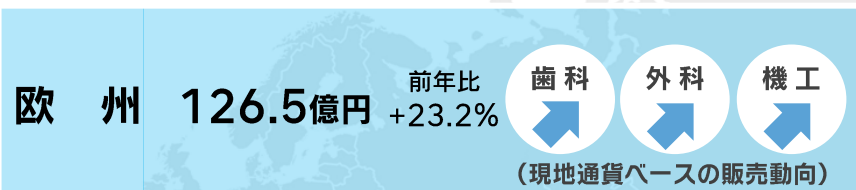
*3 DCL減損に伴う特別損失等を控除した調整後純利益を基準に算出

*4 8/7付で発表した株式分割（1株→2株）を実施した場合、期末配当は一株当たり15円

事業概況と今後の施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

国内・北米・欧州など先進国市場の販売が大きく伸長
新興国市場では地域差があるものの緩やかに伸長



さらなる事業成長に向けた海外拠点の新設・強化

欧 州

強化	NSK Europe	ドイツ	2003	歯科・外科
新設		東欧	2026	歯科
	NSK France	フランス	2005	歯科
強化	NSK United Kingdom	イギリス	2007	歯科・外科
強化	NSK Dental Spain	スペイン	2008	歯科・外科
	NSK Dental Italy	イタリア	2013	歯科
	NSK Dental Nordic	スウェーデン	2019	歯科
	Nakanishi Jaeger	ドイツ	2022	機工
新設	NSK Schweiz	スイス	2026	歯科

北 米

大幅増員	NSK America	米国 (IL)	1984	歯科・外科・機工
	DCI International	米国 (OR)	2023	DCI
買収	Acra Cut / Intech	米国 (MA)	2026	外科

アジア

	NSK Shanghai	中国 (上海)	2005	歯科・外科
移転	NSK Asia	タイ	2009	歯科
	NSK Dental Korea	韓国	2014	歯科
強化	NSK Dental Manufacturing	中国 (四川)	2023	歯科・外科
	REFINE Medical	中国 (桂林)	2023	歯科

その他 (南米・中近東・ロシア・オセアニア)

強化	NSK Middle East	U.A.E.	2000	歯科・外科
	NSK RUS	ロシア	2007	歯科
	NSK Oceania (AU)	オーストラリア	2007	歯科
	NSK Oceania (NZ)	ニュージーランド	2007	歯科
強化	NSK America Latina	ブラジル	2013	歯科・外科
新設	NSK Turkey	トルコ	2025	歯科



2026年4月

近畿デンタルショー（大阪）

国内

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



- 流通改革が奏功しハンドピースや予防歯科製品など幅広く販売伸長。売上は前期比+32%と大幅増収。
- OEMビジネスは二桁増収。既存製品の伸長に加え新製品が寄与。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 新たな流通網の立ち上がり順調。ハンドピースや予防歯科製品の拡販、販売店との関係強化進む。
- OEM先との関係強化を推進。



2026年6月 Expodental Rimini 2026（イタリア）

欧州

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



- 2025年発売の予防歯科新製品の販売好調が続き、増収に寄与。
- NSKブランド製品群が顧客に選ばれ続けており、主要地域のほぼすべてにおいて販売伸長。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 主力のハンドピースやインプラントモーター、予防歯科製品を拡販。
- 新設した海外拠点を基点にして更なる商機獲得を目指す。



2026年5月

CDA2026 (カリフォルニア)

北 米

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



- 北米市場は横ばいながらもNSKブランドシェア拡大で二桁増収。
- DCIのNSKバンドル率が向上しハンドピース販売を底上げ。
- 主要OEM販売が減少。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- ハンドピース等主力製品の拡販とDCIとのバンドル販売に注力。
- DSO・歯科大学アプローチ強化。
- OEMビジネスの拡充を推進。



2026年3月

Dental South China (中国・広州)

アジア

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



- 中国：需要回復は見通せない中販売低調。
- 韓国：需要は弱含むも販売回復。
- アジア：入札獲得により売上回復。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 公立病院の入札案件を着実な取り込み、売上確保を図る。
- アジアでは需要回復の兆しが見える中、自社ブランドやリファイン製品の拡販に注力。



2026年2月

CIOSP2026 (ブラジル)



2026年5月

口腔外科製品講座 (ニュージーランド)

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



中近東

- 紛争影響が続いているもののQ2から需要は徐々に回復。大型案件の獲得も重なり二桁増収を達成。

南 米

- 需要は底堅く推移しているものの大きなディールを失い販売減少。

ロシア

- 需要減退が進む中、ロシア販売は前期並みとなったもののCIS諸国向けが伸び悩み、減収。

豪 州

- 需要は弱含んだものの代理店向け販促施策や政府入札案件の獲得で販売は横ばい。円安効果で増収。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 先行き不透明な状況が続くものの入札案件への対応強化やアフターサービスの訴求で需要掘り起こし。

- 価格競争には適切に対応しつつもKOL連携を通じて市場プレゼンス向上と付加価値訴求を推進。

- CIS諸国における販売網の強化とリファインを含めた主力製品群の拡販。

- 主力のハンドピースのほか、市場ニーズの高い予防歯科製品や訪問歯科治療機器の拡販に注力。

市場競争が激しくなる中、相乗効果の高い NSK x DCIバンドル販売で付加価値を訴求

事業トピックス



NSK x DCI バンドル販売

DCI買収の最大の狙いは、NSK x DCI製品のバンドル販売によって歯科用ハンドピースの米国シェアを拡大することにあります。2026年上半期のバンドル販売率は36%と順調に拡大し、過去最高水準となりました。



新本社・新工場の取得

2026年6月、DCIは、オレゴン州ウィルソンビルにある土地・建物を取得しました。約97,000㎡に及ぶ広大な敷地には、本社・工場に加え倉庫やショールームを備え、持続的な成長を支える事業基盤として整備していく予定です。

上半期の概況

市場動向

- ・ 米国市場全体のデンタルチェアの販売台数は前年比+2%

事業動向

- ・ 値上前の駆け込みも取り込み、DCIの販売台数は前年比+9%
- ・ 駆け込み需要と販売単価上昇により大幅増収。前年比 +20%

下半期の施策

市場予測

- ・ 需要は底堅く推移するものの、市場競争は激化する見込み

主な施策

- ・ プライベート医院・歯科大学・政府系機関へのアプローチ強化
- ・ NSK x DCI バンドル販売率のさらなる拡大



2026年4月 第55回日本脊椎神経学会学術集会（福岡）

上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



国内

- 競合撤退に伴う商談獲得が順調に進んだほか、ディスポ製品の販売も伸長して大幅増収。

欧州

- 各現地法人を軸とした営業体制の整備と新規代理店開拓が奏功して大幅増収。

北米

- AcraCutの販売は計画線に着地、NSK製品販売は好調で大幅増収。市場シェアは着実に拡大。

アジア

- 主力の中国市場で入札案件の獲得やディスポ販売が伸長。韓国でも競合撤退需要を取り込み販売伸長。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 営業力強化と新製品の販売体制の構築を推進。学会セミナー等への出展を通じて需要取り込みを図る。

- 販路拡大による新市場開拓を遂行。新製品トライアルを通じた顧客との接点強化・製品拡販を推進。

- KOLニーズに合致する新製品の発売で案件獲得を狙うとともに営業体制の強化を図る。

- 主力市場の中国をフォローしつつ韓国や東南アジア諸国の営業体制の強化によって更なる拡販を図る。



上半期の概況

販売実績
(前期比)
(現地通貨)



国内

- 大手工具メーカーとの協業や増速スピンドルの拡販等の提案型営業活動が奏功し二桁増収。

欧州

- 代理店網の拡充効果が出て販売増。イエガー製品の販売回復も重なり大幅増収を達成。

北米

- 旺盛な需要を背景に自動車関連・医療機器関連案件の獲得が進み大幅増収を達成。

アジア

- 中国市場向けの自動旋盤用スピンドル案件を獲得したほか、底堅い需要を着実に取り込んで販売伸長。

下半期の施策

販売計画
(前期比)
(現地通貨)



- 工具メーカー協業深化や自動化・省人化の提案営業を一層強化。

- 代理店網を活用した引き合い案件の取り込みとイエガー再建を遂行。

- 需要は底堅く続いており自動車・医療機器関連等の需要掘り起こし。

- 中国の大型案件完了を見越して各地域の主要顧客アプローチを継続。

NSK